

古代の武具の姿〜酒巻15号墳出土の器財埴輪〜

古墳から出土する埴輪は、当時の人々の姿を私たちに教えてくれる資料の一つです。その中でも「器財埴輪」と呼ばれる武具や冠などをかたどった埴輪は、実に写実的な造形で当時の細工を伝えてくれます。

う飾り玉で飾られています。この部分は革製だったようです。鞆に収まった状態で表現され、把を固定する紐が巻かれているのが分かります。紐は結つてあるものと結われずに解かれたものがありました。

県指定有形文化財である酒巻15号墳出土の埴輪にもそうした器財埴輪がいくつか含まれています。後円部の石室近くの周溝から大刀形埴輪、鞆形埴輪、鞍形埴輪など7点の武具の形をした器財埴輪がまとまって出土したのです。聞きなれない名称のこれらの埴輪は、実際にどんな武具だったのでしょうか。

「鞆」は弓を射るときに左手首の内側に結び付けた防具で、円筒台の上に載った丸い部分が本体です。実物は革で作られ、中に綿などを詰めた丸い袋状の形をしていました。埴輪には、革の縫目やくくり紐も表現されています。

「大刀」は、平安時代から使われるようになった「太刀」とは違い、弥生時代から日本で見られるようになる直刀のことです。把の部分には手を保護する勾金というパーツが付いており、三輪玉とい

「靱」は矢を入れて背中に背負うための矢筒です。矢尻を上にして矢を収納した様子が埴輪からも分かります。掛紐を結び、裾には鋌打ちが施されています。



酒巻15号墳出土の器財埴輪 (左から大刀形埴輪、鞆型埴輪、鞍型埴輪)

こうした武具は、古墳の被葬者である豪族たちにとつてとても重要なものであり、その権威を広く世間に知らしめるためのものでありました。だからこそ、わざわざ埴輪にその形を写し、石室の入り口に並べ立てられていたのだと考えられます。(郷土博物館 浅見貴子)

はじめまして



令和元年7月生まれのお子さんを募集します

- 5月1日(金)〜29日(金)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、6月2日(火)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



令和元年5月生まれのおともだち



青柳 千桜ちゃん(行田)
令和元年5月15日生まれ
父・大輝さん 母・千鶴さん
「元気に育つてくださーい♡」



栗原 紬輔ちゃん(須加)
令和元年5月24日生まれ
父・慎さん 母・美穂さん
「細輔の可愛い笑顔がみんな大好きだよー」



河野 大輔ちゃん(小敷田)
令和元年5月20日生まれ
父・寿人さん 母・希さん
「大きくなーれ。大輔くん」



小島 琢斗ちゃん(若小玉)
令和元年5月2日生まれ
父・俊さん 母・ひとみさん
「生まれてきてくれて、ありがとう♡」



田端 一禾ちゃん(向町)
令和元年5月21日生まれ
父・正雄さん 母・舞さん
「笑顔いっぱい、のびのび育つてね」



渡辺 喜ちゃん(佐間)
令和元年5月9日生まれ
父・光さん 母・真由子さん
「喜びいっぱいー！ 幸せいっぱいー！」

今月の表紙

4月8日、市内全小・中学校で入学式が行われました。式は、全員がマスクを着用し、座席の間隔を空けるなど新型コロナウイルス感染症対策をした上で実施されました。埼玉小学校の新入生32人は、式後に教室に入り、担任教諭から小学校での目標を聞かれると、「勉強を頑張る」、「たくさんの友達を作りたい」などと元気よく答えていました。

- 市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)まで。
- 市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
- 市報をダイジー版に録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当(内線318)までご連絡ください。



環境にやさしい
植物油インキ
市報ぎょうだは
再生紙を
使用しています